

## 持続可能なバイオエネルギー生産のためのバイオマス戦略事業[新規]

【19(0)百万円】

### 対策のポイント

バイオマス種別毎の原料調達のための実施可能性調査を行うことにより、アジア地域におけるバイオエネルギーの安定的な供給及び利用促進に貢献します。

### <背景/課題>

- ・国際再生可能エネルギー機関（IRENA）では、2030年までに世界の再生可能エネルギーの割合を倍増するという国連目標の達成のためのロードマップ（REMAP2030）を作成しており、加盟国である我が国にはその取組の推進が強く求められています。
- ・我が国は、海外におけるバイオマスの活用推進を図る目的でIRENAに積極的に関与してきており、これまで当省の拠出金で行った調査・分析では、2030年に再生可能エネルギーの割合を倍増させるためには農林業残渣の活用が非常に重要であることが明らかになりました。これは、我が国が目指す地域資源を活用した食料供給と両立するバイオマス利活用の方向性と合致するものです。
- ・現在、アジア地域では、人口増加等による農村地域の深刻なエネルギー不足が問題になっており、バイオマスを電力や熱として活用する機会が多分にあるものの、バイオマス発電等に使用するバイオマス資源を活用をするに当たっての情報が不足しています。
- ・このためバイオマス関連の日系企業にとっては、アジア地域での安定的な原料調達が課題となり、海外進出が進みにくい状況となっています。

### 政策目標

アジア地域のエネルギーミックスにおけるバイオエネルギーの割合を大幅に増大

### <主な内容>

#### 持続可能なバイオエネルギー生産のためのバイオマス戦略事業

主にアジア地域を対象にバイオマス資源量調査及び持続可能なバイオマス供給のポテンシャル分析を実施し、バイオマス種別毎に原料調達のための実施可能性調査を行うため国際再生可能エネルギー機関（IRENA）に対して拠出を行います。

拠出先：国際再生可能エネルギー機関（IRENA）  
事業実施期間：平成30年度～平成31年度

お問い合わせ先：

大臣官房海外投資・協力グループ  
政策課環境政策室

(03-3502-5913)  
(03-6744-2016)

# 持続可能なバイオエネルギー生産のためのバイオマス戦略事業

## 事業概要・目的

- 『バイオマス活用推進基本計画』、『地球温暖化対策計画』及び『持続可能な開発目標（SDGs）実施指針』の優先課題において、再生可能エネルギーの導入と国際展開を積極的に進めることになっている。



- アジア地域を対象にバイオマス資源量調査及び持続可能なバイオマス供給のポテンシャル分析を実施し、バイオマス種別毎に原料調達のための実施可能性調査を行う。



## 事業イメージ・具体例

- アジア地域において、バイオマスに関する調査を行う。



①バイオマス資源量調査

②持続可能なバイオマス供給のポテンシャル分析

③バイオマス種別毎の原料調達のための実施可能性調査

## 期待される効果

- 国際的なバイオエネルギーの安定的な供給及び利用推進
- 我が国の研究機関等のバイオマス研究促進
- アジア地域の農村地域のエネルギー不足解消に寄与
- バイオマス関連企業の投資活動によって、企業のバイオマス関連技術を向上させ、国内のバイオマス資源の有効活用に寄与

## 資金の流れ

